

Ⅲ 各地域の政策

平成28年度からスタートした「北海道総合計画」の「地域づくりの基本方向」に基づき、地域づくりを進めていきます。

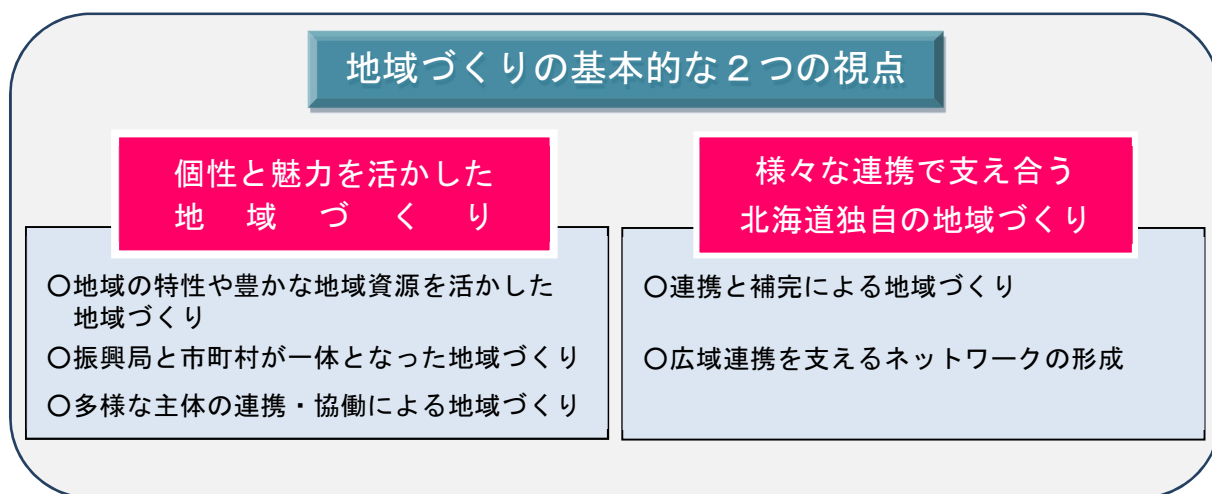
◆ 地域づくりの基本的な考え方

本道が、人口減少下においても将来にわたって発展していくためには、道民及び市町村の創意と主体性が発揮され、地域の特性や資源などを活用した取組が持続的に進められることが必要です。

広大な本道の地域振興を効果的に進めるためには、コミュニティや集落といった身近な生活単位から、市町村、保健医療福祉圏、振興局所管地域、連携地域といった様々な地域の単位において、人と人とのつながりや、地域と地域の結びつきにより、相互に連携・補完し合うことが重要です。

また、地域の実情に即した課題を解決していくためには、地域づくりの拠点である振興局の役割が重要となっていることから、その機能を強化するとともに、多様な主体による連携と協働の取組や地域の意向を踏まえた権限移譲など地方分権に係る取組を進めていく必要があります。

このため、以下の基本的な2つの視点に基づき、地域の総力により、「輝きつづける北海道」の実現に向け地域づくりを進めていきます。



◆ 個性と魅力を活かした地域づくり

【地域の特性や豊かな地域資源を活かした地域づくり】

- ・本道の各地域の特性や豊かな地域資源を活かし、農林水産業と観光産業による連携など産業間の連携による取組やICTを活用した農林水産業など分野横断的な連携による取組を進めるとともに、地域づくりを担う多様な人材を育成・確保していきます。
- ・地域の創意と主体性が存分に発揮できる社会を目指し、道州制特区推進法や国の提案募集方式を活用した国から道への事務・権限移譲などを進めるとともに、道から市町村への事務・権限移譲を進めていきます。

【振興局と市町村が一体となった地域づくり】

- ・人口減少など地域を取り巻く環境が厳しさを増す中、振興局が地域づくりの拠点として、市町村との連携を一層強め、地域の実情に応じた施策を効果的に展開していきます。
- ・振興局が市町村と一体となった地域振興を推進していくために、地域づくりに関するスキルやノウハウを身につけた人材の育成・確保とその活用や地域事情に詳しい職員の配置、市町村への職員派遣などにより、地域づくりを積極的にサポートしていきます。

【多様な主体の連携・協働による地域づくり】

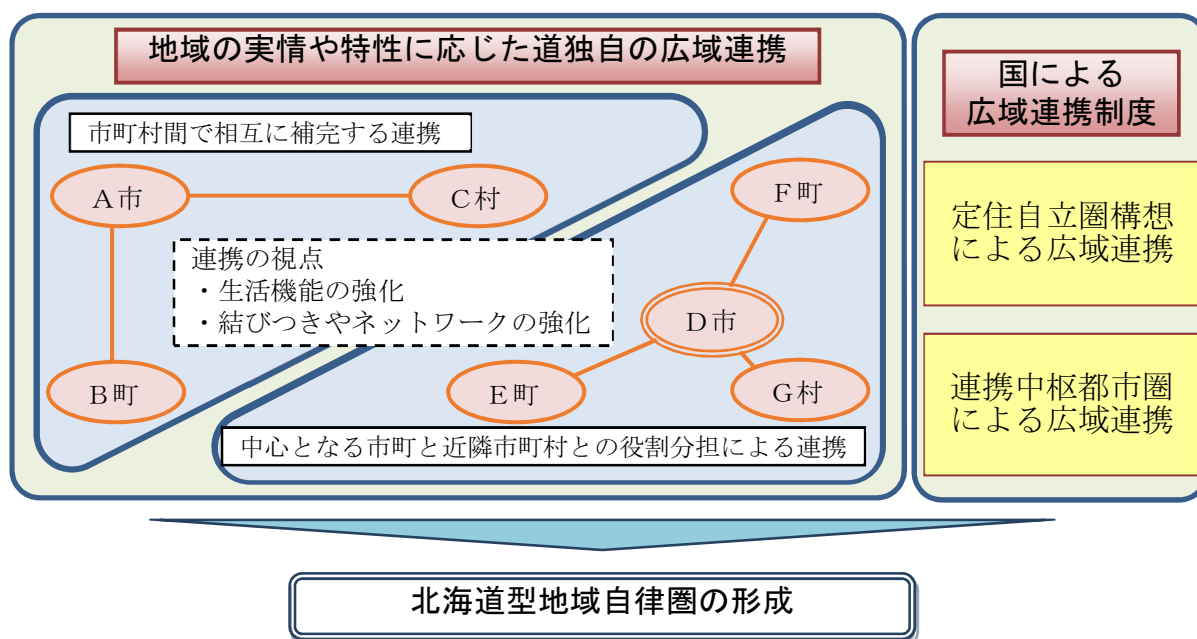
- ・地域の実情に即した課題の解決を図っていくため、道民や市町村はもとより、地域の経済を支えている産業団体や民間企業・金融機関、そして地域づくりを担うNPOや大学といった多様な主体が連携・協働して、地域が主役の取組を進め、次世代にバトンをつなぐ地域づくりを進めていきます。

◆ 様々な連携で支え合う北海道独自の地域づくり

【連携と補完による地域づくり】

- 人口減少下において、市町村が様々な行政サービスを持続的に提供できるよう、定住自立圏など国の広域連携制度の活用を図るほか、地域の実情や特性に応じた独自の広域連携に取り組むなど、北海道型地域自律圏の形成を図ります。
- 本道の人口の約3分の1を占める札幌市の都市機能と道内各地域が有する資源を結びつけ、道内市町村の産業振興や活性化の取組を促進するなど、道内市町村と札幌市の双方がメリットを享受できる関係を構築することで本道全体の発展につなげていきます。
- 道内市町村と道外都市などとの連携や交流、さらには海外との結び付きを強めるなど国内外との連携や交流を促進していきます。
- 各地域で活動している地域づくりの人材の交流を図り、人と人とのつながりを強めるなど地域間の連携を促進していきます。

北海道型地域自律圏のイメージ



【広域連携を支えるネットワークの形成】

- 地域間の連携と補完による地域づくりを支えるため、広域化に対応する交通・情報ネットワークの形成を進めていきます。
- 北海道の強靱化に当たっては、広域性や地理的特性を十分考慮し、それぞれの地域の実情に応じたきめ細かい対策を講じるとともに、関係者相互の連携協力とネットワークの形成を重視した取組を進めていきます。

◆ 計画推進上のエリア設定

「北海道総合計画」では、一定の人口規模以上で、行政をはじめ経済、医療、教育、文化などの面で拠点性の高い札幌市、函館市、旭川市、釧路市、帯広市及び北見市を「中核都市」と位置づけ、これらを拠点とする6つのエリアを「連携地域」として設定しています。

また、連携地域を構成し、地域づくりの拠点である14の「振興局所管地域」についても計画推進上のエリアとして設定し、それぞれのエリアの特性を活かした地域づくりを進めることで本道全体の活性化を図ります。



連携地域	中核都市を拠点に、第三次保健医療福祉圏における保健医療福祉サービスをはじめ、経済、教育など高度な都市機能サービスの提供などの役割を有する広域的なエリア
中核都市	人口規模が一定以上で、行政をはじめ経済、医療、教育、文化などの面で高度な都市機能を有する都市
中核都市群	中核都市と相互に結びつきが強く、一体的に都市機能を発揮する都市
地域中心都市	エリアの中で都市サービスや日常生活ニーズなどの面において、中核都市の機能を補完する市や町
振興局所管地域	地域の実情に応じた政策を効果的に進めるため中核的な役割を担う振興局の所管エリア

◆ 地域づくりの推進の手立て

・「北海道総合計画」の「地域づくりの基本方向」は、長期的な視点に立った地域振興の方向を示すものであり、この方向に基づいた具体の施策や主な取組は、北海道地域振興条例第5条に基づく地域計画である「連携地域別政策展開方針」に基づき、地域における計画推進の要としての役割を担う振興局が中心となって、実効性の確保を図ります。

- ・地域づくりを進めるに当たっては、喫緊の課題である人口減少問題への対応や地方創生の推進など、情勢の変化に的確に対応するために策定した「北海道創生総合戦略（地域戦略）」と連携を図りながら推進します。
- ・また、地域における保健・医療・福祉、環境、経済・産業、エネルギー、教育など特定の政策分野ごとの「特定分野別計画」と一体で推進します。

<連携地域別政策展開方針>

広域的な地域の区分ごとに地域振興を効果的に推進するための「地域計画」として位置づけ、市町村や民間の方々など多様な主体の参画を得て策定する計画。

総合計画における「政策展開の基本方向」や「地域づくりの基本方向」に基づき、6つの連携地域と14振興局の施策の展開方向や主な取組を示すもの。

新たな「連携地域別政策展開方針」について

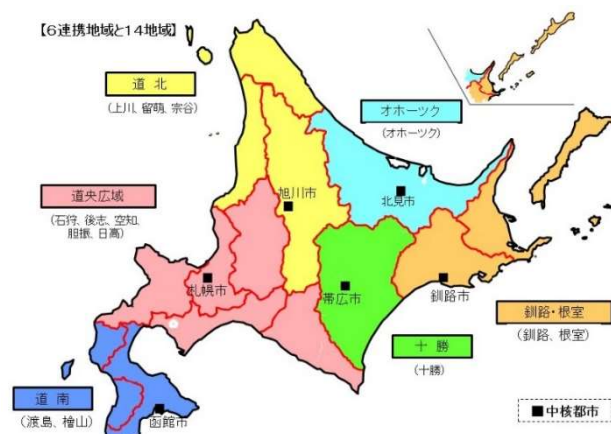
1 新たな「連携地域別政策展開方針」について

「連携地域別政策展開方針」は、地域の特性や特色に応じ、地域に根ざした政策を展開するため、市町村や地域の関係者の参画を得ながら、「北海道総合計画」に示す6つの連携地域ごとに策定する地域計画です。

近年の人口減少問題など経済社会情勢の変化を踏まえ、平成27年度に「北海道創生総合戦略（地域戦略）」や新たな「北海道総合計画」を策定しましたが、これらの動きに対応した各地域での施策展開が必要なことから、方針の見直しを行い、平成28年度から概ね5年間を対象期間とした新たな方針を策定しました。

2 方針の構成について

- 地域のめざす姿
概ね10年先の地域のめざす姿
- これまでの取組と課題
連携地域等におけるこれまでの取組と課題
- 主な施策の展開方向
これまでの取組と課題を踏まえた、今後5年程度の連携地域等の施策の方向
- 地域重点政策ユニット
各地域で重点的に取り組む複数のプロジェクトで構成



3 主なプロジェクトについて


各連携地域は、それぞれの地域のめざす姿の実現に向けて、地域の強みや可能性などを活かし、地域の多様な主体と連携・協働しながら様々なプロジェクトを進めていきます。【全51プロジェクト】

連携地域	プロジェクト(例)	主な施策	主なKPI
道央広域 【20プロジェクト】	ようてい・西いぶり広域連携プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ■広域連携による新たな観光地づくり ■広域的な協力・連携による防災体制の強化 	○観光入込人数(14市町村合計(区毎の統計を取っていない札幌市南区を除く)) 2,240万人(H26)→2,680万人(H31)
道南 【6プロジェクト】	新幹線開業を活かした交流人口拡大プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ■北海道新幹線開業を活かした青森・道南広域観光圏の形成 ■北海道新幹線開業を強みとしたスポーツ合宿地としての魅力発信 	○観光入込人数 1,162万人(H26)→1,400万人(H31)
道北 【13プロジェクト】	魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ■特色ある自然や歴史、芸術文化をテーマとした地域の魅力発信 ■広域周遊観光や体験・滞在型観光等の推進 	○観光入込人数 2,186万人(H26)→2,343万人(H31)
オホーツク 【3プロジェクト】	生産体制の整備や販路拡大などによる農林水産業強化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ■多様な主体の連携促進 ■付加価値の高い商品の開発や起業・創業の促進 	○オホーツク産小麦使用の菓子店舗数 14店(H26)→50店(H31)
十勝 【4プロジェクト】	「次世代先進産業」とかちチャレンジプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ■豊富な地域資源を活かした再生可能エネルギー等の導入促進 ■新たな価値を生み出す科学技術などの活用 	○先進技術関連事業所立地数 13件(H26)→17件(H32)
釧路・根室 【5プロジェクト】	安全・安心で心豊かに暮らせる地域づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ■子育て支援及び高齢化対策の推進 ■地域防災力の充実・強化 	○認定こども園設置数 0か所(H26)→26か所(H31)

4 方針の推進管理について

方針を効果的に推進していくため、各振興局が毎年度、各プロジェクトの推進状況等を地域づくり連携会議において検証し、必要に応じて見直しを行うPDCAサイクルを構築し、実効性を確保します。

III 各地域の政策


道央広域	空知地域 石狩地域 後志地域 胆振地域 日高地域	政策展開方針概要	地域のめざす姿	個性豊かで多彩な地域資源を活かし北海道をリードする中核エリアとして発展をめざす「道央広域連携地域」	
連携地域					

1 主な施策の展開方向

- 誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりの推進
- 豊かな自然環境と調和した持続可能な社会の構築
- 地域の特色を活かした多種多様な農林水産業の展開
- 北海道経済をリードする産業の活性化
- 多彩な地域資源を活用した観光の振興
- 地域固有の文化や歴史の継承・活用
- 交流を支える基盤整備の促進

2 地域重点政策ユニット 全20プロジェクト ※主なプロジェクトを掲載

ようてい・西いぶり広域連携プロジェクト 【道央広域(後志、胆振、石狩)】 【施策】 ■広域連携による新たな観光地づくり ■広域的な協力・連携による防災体制の強化 ■移住・定住の促進 【KPI】 ○観光入込客数(14市町村合計(区毎の統計を取っていない札幌市南区を除く)) 2,240万人(H26)→2,680万人(H31)	北海道新幹線開業を活かした日胆地域活性化プロジェクト 【道央広域(胆振、日高)】 【施策】 ■胆振・日高地域が有する地域資源の魅力の発掘・磨き上げ ■地域の強みの国内外発信による新たな人の流れの創出 【KPI】 ○胆振・日高地域への観光入込客数 1,720万人(H26)→2,020万人(H31)	道内ジオパークの連携による地域力向上プロジェクト 【道央広域(胆振、空知、日高、林・ツク、十勝)】 【施策】 ■各地域におけるジオパークを活かした特色ある取組の促進 ■道内ジオパーク間のネットワークの構築 ■道内ジオパークの連携による地域の魅力発信・交流人口の拡大 【KPI】 ○ジオパーク構成市町への観光入込客数 8,228千人(H26)→9,159千人(H31)	安心して住み良いまちづくりプロジェクト 【空知】 【主な施策】 ■企業誘致やものづくり産業人材の確保・定着 ■移住・定住の促進 ■高齢者や若者・子育て世代が安心して住み良い暮らしのできる環境づくり 【主なKPI】 ○高校卒業者のハローワーク管内就職者数(岩見沢・滝川管内) 252人(H27.3卒)→270人(H32.3卒)
若い世代の結婚・子育てに関する希望をかなえる少子化対策加速プロジェクト 【石狩】 【施策】 ■若者が希望どおり結婚して子どもを持てるような環境づくりの推進 ■ワーク・ライフ・バランスの実現 【主なKPI】 ○石狩地域の子育てを応援する企業数 46社(H26)→100社(H31)	“しりべし”活力ある「まち・ひと・しごと」づくりプロジェクト 【後志】 【主な施策】 ■冬季にリゾートで就業する多くの若者と夏季に人手不足となっている業種とのマッチングによる通年滞在 【主なKPI】 ○マッチング窓口の利用による通年雇用者 0人(H26)→50人(H31)	経済・環境の調和を図り地域活力を創造する「いぶり」産業展開プロジェクト 【胆振】 【主な施策】 ■多様なものづくり産業拠点の形成促進 ■産官学金連携などによる地域の強みを活かした産業の振興 【主なKPI】 ○製造業の付加価値生産性 1,332万円(H25)→1,850万円(H30)	「ひだか」地域を支える農林水産業振興プロジェクト 【日高】 【主な施策】 ■農林水産物の生産振興対策の推進と担い手の育成・確保 ■農林水産物の高付加価値化の推進と販路開拓・拡大 【主なKPI】 ○新規就農者数 15人/年(H25)→20人/年(H31)

道南	渡島地域 檜山地域	政策展開方針概要	地域のめざす姿	新幹線が地域をつなぐ。～歴史や文化、豊かな自然や食の魅力を活かし北の玄関口「道南」の未来を切り拓く～	
連携地域					

1 主な施策の展開方向

- 北海道新幹線を活用した地域づくりの推進と総合的な交通ネットワークの形成
- 特色ある地域産業の持続的展開
- 産業の創出、育成による地域経済の活性化と雇用の創出
- 地域に根ざした観光・文化の振興、スポーツによる交流人口の拡大
- 快適で安心して暮らせる地域社会の形成
- 豊かな自然環境と調和した地域づくりの推進

2 地域重点政策ユニット 全6プロジェクト

新幹線開業を活かした交流人口拡大プロジェクト 【道南(渡島、檜山)】 【施策】 ■北海道新幹線開業を活かした青森・道南広域観光圏の形成 ■北海道新幹線開業を強みとしたスポーツ合宿地としての魅力発信 【主なKPI】 ○観光入込客数 1,162万人(H26)→1,400万人(H31)	未来へ続くたくましい農林水産業づくりプロジェクト 【道南(渡島、檜山)】 【施策】 ■農林水産業の強化とブランド化推進 ■農林水産業の担い手対策の推進 【主なKPI】 ○農林水産業新規就業者数 110人(H26)→126人(H31)	地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト 【道南(渡島、檜山)】 【施策】 ■地域の強みを活かした企業誘致の推進や地場産業の振興 ■産業振興との一体的な展開による雇用の創出及び若年層の定着 【主なKPI】 ○個別相談会等での商談成約件数 400件(H27～31累計)
地域で支え合う安全・安心なまちづくりプロジェクト 【道南(渡島、檜山)】 【施策】 ■防災体制の向上と安全・安心なまちづくりの推進 ■道南の多様な魅力を活かした生活・定住環境づくりの促進 【主なKPI】 ○ちょっと暮らしの利用者数 153人(H26)→210人(H31)	次世代に引き継がれる環境づくりプロジェクト 【道南(渡島、檜山)】 【施策】 ■環境教育の推進 ■自然環境の保全と再生可能エネルギーの利活用推進 【KPI】 ○道民との協働の森づくり事業参加人数 5,900人(H26)→8,200人(H31)	振興局と町の協働による連携推進プロジェクト 【檜山】 【施策】 ■振興局と町の協力・連携による地域行政サービスの維持・向上 ■振興局と町の協働による一次産業の振興・交流人口の拡大 【主なKPI】 ○振興局と町の協働連携事業 5事業(H31)


道北	上川地域 留萌地域 宗谷地域	政策展開方針概要	地域のめざす姿	広大な土地や特色ある自然環境、多様な資源を活かした産業が展開し、心豊かで安心して暮らせる「道北連携地域」	
連携地域					

1 主な施策の展開方向

- 地域特性を活かした産業振興
- 多様な魅力あふれる観光の振興
- 豊かな自然環境と調和した、安全・安心な地域づくり
- 離島地域の振興
- 生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成

2 地域重点政策ユニット 全13プロジェクト ※主なプロジェクトを掲載

魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト 【道北(上川、留萌、宗谷)】	安全・安心な地域づくりプロジェクト 【道北(上川、留萌、宗谷)】	新エネルギー導入・活用推進プロジェクト 【道北(上川、留萌、宗谷)】	ロシア極東との交流推進プロジェクト 【道北(上川、留萌、宗谷)】
【主な施策】 ■特色ある自然や歴史、芸術文化をテーマとした地域の魅力発信 ■広域周遊観光や体験・滞在型観光等の推進 【主なKPI】 ○観光入込客数 2,186万人(H26)→2,343万人(H31)	【施策】 ■全ての世代が安心して暮らせる環境づくり ■災害に対する防災体制の強化等 【主なKPI】 ○自主防災組織カバー率 43.4%(H27)→81.0%(H32)	【主な施策】 ■地域が連携した新エネルギー導入推進の取組 ■自然に根ざしたエネルギーの地産地消に向けた取組 【主なKPI】 ○新エネルギーに関するサポート件数 23件(H26)→36件(H32)	【施策】 ■サハリン州等との友好交流の推進 ■ロシア極東との物流の活性化など経済交流の推進 【主なKPI】 ○北海道における訪日ロシア人 5,949人(H26)→7,400人(H32)
天塩川ブランド力向上プロジェクト 【道北(上川、留萌、宗谷)】	上川の地域産業を支える担い手育成・確保プロジェクト 【上川】	るもい発「食・健康物語」プロジェクト 【留萌】	活力ある宗谷の1次産業推進プロジェクト 【宗谷】
【施策】 ■地域連携による絆の強化 ■魅力創造・情報発信によるブランド力の強化 【主なKPI】 ○観光入込客数(天塩川周辺地域) 308万人(H26)→313万人(H32)	【主な施策】 ■農林業の担い手育成・確保に向けた取組の推進 ■中小企業の事業承継に向けた取組の推進 【主なKPI】 ○地域産業への新規就業者数 新規就業者 124人(H25)→150人(H31)	【主な施策】 ■持続可能な農業の推進 ■健康産業の育成・展開促進 【主なKPI】 ○新規就農者数 8人(H21～25平均)→10人(H31)	【主な施策】 ■宗谷産農水産物の付加価値向上やブランド化の推進 ■広大な草地資源を活かした宗谷酪農の推進 【主なKPI】 ○百貨店等との商品新規取引数 1件(H26)→20件(H32)

オホーツク	オホーツク地域	政策展開方針概要	地域のめざす姿	豊かな地域資源を活かし、自然と共生する快適な暮らしが広がる「オホーツク連携地域」	
連携地域					

1 主な施策の展開方向

- オホーツクの統一イメージの形成・発信
- 農林水産業の強化
- 豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興
- 特色ある豊かな自然を活かした観光の展開
- 人と自然が共生できる環境重視型社会の形成
- オホーツクの特性を活かした文化・スポーツの振興
- 安心して暮らせる地域社会の形成
- 暮らしや産業を支える交通ネットワークの形成

2 地域重点政策ユニット 全3プロジェクト

生産体制の整備や販路拡大などによる農林水産業強化プロジェクト 【オホーツク】	豊富な農水産物を活かした食関連産業振興プロジェクト 【オホーツク】	地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト 【オホーツク】
【施策】 ■高収益で安定的な生産体制の整備 ■担い手の育成・確保 ■良質な農水産物の販路拡大 ■オホーツク産森林認証材等の利用促進 【主なKPI】 ○輸出に取り組む農業者団体数 3団体(H25)→5団体(H31) ○建築材等の出荷量 55.6千㎡(H26)→63.4千㎡(H32)	【施策】 ■多様な主体の連携促進 ■付加価値の高い商品の開発や起業・創業の促進 ■国内外への販路拡大 【KPI】 ○オホーツク産小麦使用の菓子店舗数 14店(H26)→50店(H31) ○農水産物を活かしたオホーツク産品の延べ商談件数 180件以上(H27～31合計)	【主な施策】 ■オホーツクの魅力の効果的な発信 ■外国人観光客の受け入れ体制づくりに向けた取組の推進 ■スポーツ合宿などの誘致に向けた取組の強化 ■空港の利用促進に向けた取組の推進 【主なKPI】 ○観光入込客数 846.9万人(H25)→900万人(H31) ○管内の合宿実施件数 293件(H26)→400件(H32)

III 各地域の政策


十勝	十勝地域	政策展開方針概要	地域のめざす姿	「食」を中心とした関連産業の展開により、多様な主体が輝く、魅力あふれる道東の拠点「十勝」	
連携地域					

1 主な施策の展開方向

- たくましく強い農林水産業の展開
- 創造性あふれる産業の推進
- 地域資源をネットワーク化した観光振興と交流促進
- いきいき暮らせる地域社会の形成
- 地球環境に配慮した持続的社会的形成
- 先進技術や再生可能エネルギーなどの普及を活かした地域づくり
- 災害に強い地域づくり
- 生命(いのち)と暮らしを守り我が国の食料供給と産業を支える交通・情報ネットワークの形成

2 地域重点政策ユニット 全4プロジェクト

「食の拠点」とちか強化プロジェクト 【十勝】	「ひがし北海道」広域観光プロジェクト 【十勝、オホーツク、釧路、根室】	「次世代先進産業」とちかチャレンジプロジェクト 【十勝】	「多様な人材の活躍」とちか支援プロジェクト 【十勝】
【施策】 ■安定的な食料の生産・供給拠点の形成 ■豊富な農水産物等を活かしたブランド力のある商品の開発や海外を視野に入れた販路拡大	【施策】 ■「ひがし北海道」の一体的な観光ブランドづくりによる誘客促進 ■交通ネットワークを利用した地域間連携の強化	【施策】 ■豊富な地域資源を活かした再生可能エネルギー等の導入促進 ■新たな価値を生み出す科学技術などの活用	【施策】 ■女性のキャリアアップや社会進出の促進に向けた取組 ■アクティブシニアをターゲットにした移住・交流の推進
【KPI】 ○地域の認証・登録制度の認証・登録品目数 179品目(H27)→200品目(H32) ○食品工業の付加価値額 876億円(H26)→1,002億円(H32)	【KPI】 ○道東地域への観光入込客数 2,620万人(H25) → 2,987万人(H32)	【KPI】 ○新エネルギーの導入状況(発電分野の設備容量) 117,809kW(H26)→253,846kW(H32) ○先進技術関連事業所立地数 13件(H26)→17件(H32)	【KPI】 ○女性キャリアデザインロールモデル輩出数(累計)50件(H31) ○ちょっと暮らし滞在日数 7,787日(H26)→11,758日(H32)

釧路・根室	釧路地域 根室地域	政策展開方針概要	地域のめざす姿	豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」	
連携地域					

1 主な施策の展開方向

- 安全・安心で良質な農林水産物の安定的な供給体制の強化
- 豊富な農林水産資源などを活かした産業の振興と地域ブランドづくりの推進
- 知床世界自然遺産や湿原をはじめとする自然、食・文化など恵まれた地域資源を活かした交流人口の拡大
- 豊かな自然環境の保全とバイオマス、石炭など地域資源の利活用の推進
- 災害に強く安心して暮らせる心豊かなまちづくりの推進
- 北方領土問題の解決に向けた世論啓発・環境整備
- 暮らしや産業を支える交通・情報ネットワークの形成

2 地域重点政策ユニット 全5プロジェクト

酪農や漁業など地域を支える産業の振興プロジェクト 【釧路・根室】	地域の強みを活かした交流人口の拡大プロジェクト 【釧路・根室】	環境保全と地域資源の有効利用推進プロジェクト 【釧路・根室】	安全・安心で心豊かに暮らせる地域づくりプロジェクト 【釧路・根室】	北方領土の早期返還と隣接地域の振興プロジェクト 【釧路・根室】
【主な施策】 ■基幹産業の持続的発展による安全安心な農水産物の供給 ■地域の産業を支える企業の振興や担い手対策の推進	【主な施策】 ■地域の強みを活かした滞在型観光や広域観光周遊ルートの形成 ■体験移住を含めた移住・定住の促進	【主な施策】 ■自然環境の保全と適正利用の促進 ■地域資源の利活用の推進	【主な施策】 ■子育て支援及び高齢化対策の推進 ■地域防災力の充実・強化	【施策】 ■北方領土問題の解決に向けた世論啓発・環境整備
【主なKPI】 ○生乳生産量 1,294千トン(H26) →1,359千トン(H31)	【主なKPI】 ○観光入込客数 806.0万人(H25) →1,023.6万人(H32)	【主なKPI】 ○道立自然公園利用者数 774千人(H26) →958千人(H31)	【主なKPI】 ○認定こども園設置数 0か所(H26) →26か所(H31)	【主なKPI】 ○北方領土返還要求署名数 69,091人(H26) →74,000人(H32)